

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ① 令和 4 年 11 月 15 日 (20:00~22:00)  
② 令和 4 年 11 月 17 日 (20:00~22:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 木村・飯田・柿木・阿久根・大石・尾家・奥野  
上野・山本・村上・山下・南・虎走

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	1人	1人	13人

前回の改善計画	面接や契約時から介護職員も関わりを持ち、アセスメントした内容を共有できるようにする。引き継ぐ情報を密に出来るようにケース記録や引き継ぎファイルを活用する。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用開始前から利用者様の情報を確認し共有出来る様になった。ただ、利用開始後の本人の情報がケース記録や引き継ぎでしっかりと共有出来ていない事もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	8	3		13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	9	3		13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	5	7		13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	5	7		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引継ぎファイルを有効に活用できてきたと感じる。</li> <li>➡引き継ぎ事項をその都度記載し情報共有できている。</li> <li>・利用者様の情報や状態の周知は事前になされているので意識的に実施できている。</li> <li>➡面接記録等を回覧し職員全体が閲覧出来る環境ができている。</li> <li>・通い、宿泊、夕方利用、昼から利用等を組み合わせ臨機応変に対応している。</li> <li>➡本人の状態や想いをケアに繋げ、柔軟な対応ができている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮はしているが関係作りまでは至っていない。</li> <li>➡業務に追われ時間が作れなかった。</li> <li>・利用開始直後の関わりをケース記録に残していない時があった。</li> <li>➡ケース記録に残すことを失念してしまっていることがある。</li> <li>・他利用者様の介助で新規利用者様の声掛けまでできていない。</li> <li>➡業務や他者に関わる時間が多く、関わる時間が持てなかった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
業務の効率化を図り、利用者様と関わる時間を確保する。引き継ぎファイルも継続して活用し、利用者様の想いを形にできる様にする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	① 令和 4 年 11 月 15 日 (20:00~22:00) ② 令和 4 年 11 月 17 日 (20:00~22:00)
-----	--

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー	木村・飯田・柿木・阿久根・大石・尾家・奥野 上野・山本・村上・山下・南・虎走
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	6人	3人	1人	13人

前回の改善計画	モニタリングや小規模計画書を全職員が見て支援ができるようにする。押印欄を作り全職員が見る習慣をつける。業務を効率的に行い、ケアプランを見る時間を設ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	モニタリングやケアプランがファイリングされており内容が確認しやすくなったが、支援に繋がっていない時もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	8	4		13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	8	4		13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	7	5		13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	3	9		13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月のモニタリング、小規模計画を書面で回覧するようになり、適宜確認することができ普段のケアに繋がられている。</li> <li>➡ 専用のファイルを作成しいつでも閲覧できる環境を築けた。</li> <li>・ ケアプラン専用ファイルが作られ、把握しやすくなった。また押印欄ができて閲覧する習慣化もできた。</li> <li>➡ 月毎のモニタリングや小規模プランが更新された際は引き継ぎファイルへ周知することで職員の意識付けや習慣に繋がられた。</li> <li>・ 毎月のケア会議で振り返りやケアの方向性や統一を図ることができている。</li> <li>➡ 一ヶ月の振り返りを行う事で職員間の情報共有やケアの方向性について話し合えている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援内容に目がいきがちで、目的意識を持って取り組むことができていない。</li> <li>➡ 計画書の重要性や意味をはっきりと意識できていなかった。</li> <li>・ ケース記録やミーティング等で発言しているが、その場限りになりがち。</li> <li>➡ 会議に参加していなかった等で周知する情報がしっかりと伝達できていなかった。</li> <li>・ 本人の目標に対しての関わりが薄い。</li> <li>➡ プランをはっきりと意識できていなかった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
本人の目標に対して具体的に理解し、支援に繋げる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ① 令和4年11月15日(20:00~22:00)  
② 令和4年11月17日(20:00~22:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 木村・飯田・柿木・阿久根・大石・尾家・奥野  
上野・山本・村上・山下・南・虎走

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	2人	0人	13人

前回の改善計画  
ご利用者の変化や気づきを日勤リーダー、ケアマネジャー、管理者に報告・連絡・相談を迅速に対応出来るようにする。意思疎通ができないご利用者もレクリエーションや余暇支援の輪に参加していただき関わりを持てるように支援する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
変化や気づきには職員間で話し合い、上手く対応できたと感じる。  
余暇活動には職員間で意識し関わりを持ったケアができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	3	7	2	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	9			13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		6	6	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	11	1		13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	9	2		13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・意思の疎通が難しい利用者様も体操やレクリエーションに参加できるよう配慮できている職員もいる。
- ➡関わりを意識し普段からコミュニケーションを図れた。
- ・心身の状態に応じた介護(食事の形態や入浴方法等)は実施できている。その変化も記録などをおして情報共有ができています。
- ➡引き継ぎファイルへの記載や職員間で当日の引き継ぎができるようになり必要な情報が共有できた。
- ・気持ちや体調の変化に気づけるように日々の様子をよく観察している。
- ➡関わりの中で想いを引き出せるようになった。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・普段と違う様子や気づきがあっても、報告・相談がないことが多い。
- ➡普段と違うといったことが理解できていなかった。
- ・全員がレクリエーションに参加できていないときもある。
- ➡本人の体調や機嫌に配慮したため。
- ・利用者との関係づくりがまだ足りていない。
- ➡雑務等、直接介助以外の業務に追われてしまい、十分に関わる時間が持てなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
報告・連絡・相談を意識して利用者様の些細な変化に気づき情報共有を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ① 令和4年11月15日(20:00~22:00)  
② 令和4年11月17日(20:00~22:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 木村・飯田・柿木・阿久根・大石・尾家・奥野  
上野・山本・村上・山下・南・虎走

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	9人	2人	13人

前回の改善計画  
引き続きご利用者やご家族、地域からの情報収集を行い、新型コロナ収束後に外出支援等ができるように準備しておく。月に一度、地域資源を活用した企画を考え取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果  
コロナの収束が見えず情報収集があまり出来なかった。地域資源の活用も買い物や通院といった最低限の活用に留まっていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	5	7		13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	3	6	3	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	6	2	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	8	3	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・買い物、通院など必要な地域資源の活用ができている。
- ➡感染対策を行った上で行えている。
- ・ドライブや初詣。
- ➡外出時間を短縮し感染対策を行い実施できた。
- ・訪問時にご近所さんとの挨拶ができている。
- ➡普段からの挨拶で関わりを持つことができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・今のサービス以上に資源開発ができていない。
- ➡現状の地域資源に満足していた。
- ・施設にいない時の過ごし方の把握が不十分であった。
- ➡独居の人の過ごし方の把握の聞き取りができていなかった。
- ・地域イベントへの参加。地域イベント等の把握。
- ➡コロナ禍により情報収集ができていなかった。
- ・コロナ禍で住み慣れた地域での外出支援ができていない。
- ➡コロナ禍により外出を自粛していた。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
利用者・職員アンケートを行い、地域資源を活用して余暇支援を計画・検討し実行に繋げる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ① 令和4年11月15日(20:00~22:00)  
② 令和4年11月17日(20:00~22:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 木村・飯田・柿木・阿久根・大石・尾家・奥野  
上野・山本・村上・山下・南・虎走

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	7人	1人	13人

前回の改善計画  
ご利用者の変化をケース記録に記載して引き継ぎ、地域資源を活用した柔軟な支援ができるようにする。  
新型コロナ収束後には地域のイベントに参加する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
ケース記録は残せる様になったが、コロナ禍により地域資源を活用しきれていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		4	6	3	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	9			13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	12			13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	9			13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・急な対応(宿泊、訪問、通い)も十分行えていると感じる。
- ➡利用者・ご家族様の状態に合わせて柔軟な対応ができていた。
- ・買い物、病院などは活用できている。
- ➡感染対策を行い、必要な地域資源は活用できた。
- ・状態に合わせて臨機応変に支援できている。
- ➡利用者・ご家族様の状態に合わせて柔軟な対応ができていた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・変化や気づきに対する発信がほとんどない。
- ➡会議に参加する機会が少なく、発信する機会が少なかった。(非常勤職員)
- ・情報共有で利用者の変化について話すことが少ない。
- ➡気付いていても目の前の対応で忙しく、話し合う機会を逃してしまった。
- ・地域資源は十分に把握できていない、また活用もできていない。
- ➡地域との関わりが少なかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

感染対策をした上で少人数での外出企画を検討し実行する。  
引き継ぎファイルを活用し変化や気づきを共有できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ① 令和4年11月15日(20:00~22:00)  
② 令和4年11月17日(20:00~22:00)

6. 連携・協働

メンバー 木村・飯田・柿木・阿久根・大石・尾家・奥野  
上野・山本・村上・山下・南・虎走

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	5人	1人	13人

前回の改善計画  
 コロナ禍において、引き続きガーデンハウス内のイベントを充実させていく。  
 新型コロナが収束後に参加出来るイベント等の情報収集を続ける。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 毎月レクリエーション担当を設けており、各月担当が季節の行事企画を行えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	5	2	4	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2	1	10	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		2	1	10	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		2	1	10	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・月別担当が交代で企画をしているので内容が重複せず充実している。
- ➡季節の行事を企画し余暇支援に繋がられている。
- ・他事業所とサービス担当者会議開催等に参加ができている。時間が合えば参加している職員もいる。
- ➡初回面談や契約時にも介護職員が関りを持てるようになった。
- ・ノートを活用して訪問看護との情報共有がなされている。
- ➡必要な情報を記載しお互いが情報共有できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・自治体のイベント参加や地域の人を招いての行事はできていない。
- ➡コロナ禍により地域との関わりや行事への参加ができていない。
- ・コロナ禍で子供と高齢者が触れ合う機会がなくなった。
- ➡感染対策の一環として現在は自粛しているため。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 コロナ収束後に地域との連携・協働ができる様に準備や情報を収集していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ① 令和 4 年 11 月 15 日 (20:00~22:00)  
② 令和 4 年 11 月 17 日 (20:00~22:00)

7. 運営

メンバー 木村・飯田・柿木・阿久根・大石・尾家・奥野  
上野・山本・村上・山下・南・虎走

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	8人	0人	13人

前回の改善計画
新型コロナ収束後に外出支援や地域との関りを支援できるように情報収集を続ける。 ご利用者様・ご家族様と普段から連絡を取り合い協力し運営に反映する。
前回の改善計画に対する取組み結果
普段からの関わりや連絡ノートを活用した情報共有はできていたが、地域との関わりを意識した情報収集は希薄であった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	3	7	2	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	9	3		13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	5	4	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?			7	6	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・利用者、家族様と普段からの関わりの中で意見を反映できていると感じる。 ➡連絡ノートの活用により情報共有はできている。 ・連絡事項は引継ぎやケア会議で伝達されている。 ➡毎月行う会議でその都度必要事項を検討できできている。 ・日々の業務中や会議等において事業所の在り方について話し合うことはできている。 ➡毎月2回会議を行い、運営やケアについて検討ができている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・コロナ禍の為、地域との関わりが少なくなっている。 ➡感染対策の一環として自粛しているため。 ・会議などでもあまり意見を言えていない。 ➡会議に参加できていないことが多く、発信する機会が少ない。(非常勤職員)

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	コロナ収束後に地域との関わりを再開できるように、情報収集や地域資源を活用した支援を可能な範囲で継続していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ① 令和4年11月15日(20:00~22:00)  
② 令和4年11月17日(20:00~22:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 木村・飯田・柿木・阿久根・大石・尾家・奥野  
上野・山本・村上・山下・南・虎走

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	3人	0人	13人

**前回の改善計画**  
引き続きヒヤリハット報告書等で情報共有してリスクマネジメント活動を行う。  
新型コロナ収束後には各自が研修に参加してスキルアップを目指す。  
書類関係類はご利用者様の手の届かない所に管理する様徹底する。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
気づきを意識したヒヤリハットを挙げられるようになった。書類関係に関してはまだ手の届く所に置いてあることもあり不十分なときもあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	5	5	1	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	5	4	3	13
③	地域連絡会に参加していますか			4	9	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	8	4		13

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ヒヤリハットの提出は増えたように感じる。
- ➡気づきを意識したヒヤリハットを提出できるようになった
- ・リスクを想定して事業に取り組んでいる。
- ➡ヒヤリハット・事故報告を確認することで意識してケアを行えるようになった。
- ・個人情報の書類が放置されているのを見つけたときはすぐに片付けている。
- ➡職員間で個人情報への意識が高まった。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・書類整理ができていない。
- ➡環境整備の意識が低いことや業務の優先順位が低く、他人任せになってしまうことがある。
- ・外部研修への参加ができていない。
- ➡コロナ禍により情報収集が不足していた。
- ・書類を放置していることがある。
- ➡すぐに対応が必要な場合があり、その状況によってはノート等をテーブルに放置してしまうことがある。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
引き続き個人情報の取り扱いには管理を徹底する。ヒヤリハットや事故報告を元に情報を共有し気づきの力を養う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 ① 令和4年11月15日(20:00~22:00)  
② 令和4年11月17日(20:00~22:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 木村・飯田・柿木・阿久根・大石・尾家・奥野  
上野・山本・村上・山下・南・虎走

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	4人	0人	13人

前回の改善計画  
引き続き、個人情報に関する書類はご利用者の目に触れないように配慮する。  
引き継ぎの時はご利用者の個人名を出さない等する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
個人情報には意識して管理できるようになったが、不十分なときもあった。  
職員間での引き継ぎ時にも個人名に配慮できていないときがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	6	7			13
②	虐待は行われていない	7	6			13
③	プライバシーが守られている		10	3		13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	7			13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	11	1		13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・虐待や拘束はみられず良いスタッフであると思う。
- ➡普段から笑顔の職員が多く、利用者に対しても優しい言葉遣いで対応している。
- ・個人情報はファイリングして利用者の手の届かない所に保管している。
- ➡手の届かない・目につかないように意識して管理ができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・声掛けが大きくなる時がある(トイレ誘導時など)
- ➡普段は配慮に心がけているが、忙しさや焦りによって配慮できていないときがあった。
- ・業務日誌や引継ぎファイルが利用者の近くに放置している時がある。
- ➡咄嗟の対応により書類が置いたままになっている時があった。
- ・引継ぎや職員同士の会話中にプライバシーが守られていない時がある。
- ➡内容や声の大きさ等に配慮が欠けていた。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
書類等は常に利用者の目に触れる可能性があることを念頭に置いて業務にあたる。  
引き継ぎの際や会話の中でも声のトーンを抑える等の配慮をする。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	柘野福祉会	代表者	酒枝 素子	法人・事業所の特徴	理念(精神的方向づけ)「長生きして良かった」と、心から喜んでいただける日が、一日でも多くありますように。 使命(任務・行動の方向づけ)人生の大先輩のために、いま私たちにできることは... 目的(組織として目指す最終ゴール)誰もが自分らしく暮らして行ける環境や社会の 仕組みを、皆で創ること。
事業所名	ガーデンハウス上桂	管理者	木村 伸広		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	1人	1人	1人	0人	2人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	引き継ぎを行うことは継続し、今後は利用者様のケアに重点を置いた情報共有を行うことを目指す。情報を周知することで終わるのではなく、職員全体が周知しケアに繋がれることを目指す。	新規利用者様の利用開始前からの情報を確認し共有出来る様になった。ただ、利用開始後の本人の情報がケース記録や引き継ぎ等でしっかりと共有出来ていない時があった。	改善点を検討している姿勢はみられるが、出来ていない点も多く見られる。さらに具体的に達成可能な計画に改善する必要があると思う。	・業務の効率化を図り、利用者様と関わる時間を作る。 引き継ぎファイルも継続して活用し、利用者様の想いを型に出来る様にする。
B. 事業所のしつらえ・環境	今年度は地域との関りが少なかったため、次年度は地域との関わりを意識して環境作る。また、事業所へ出入りしやすい環境を検討し、実現を目指す。	コロナ禍により地域との関りは少なかったが、新規利用の申し込みや見学に関しては感染症対策を徹底し見学して頂く事が出来た。	コロナの影響で出掛けるのは判断が難しいと考えます。 感染対策を行い、対応を行って欲しい。	昨年度に続き地域との関わりを意識して環境作り、事業所へ入りやすい環境を検討し実践する事を目指す。
C. 事業所と地域のかかわり	利用者様の想いを形にできる企画を提案し実行することを目指す。地域での催し物への制限も念頭に置き、安全な行事企画を提案し実行することとする。	コロナの収束が見えず情報収集があまり出来なかった。地域資源の活用も買い物や通院といった最低限の活用に留まっていた。	コロナの影響で出掛けるのは判断が難しいと考えます。 感染対策を行い、出来る範囲でケアを行って欲しい。	利用者様、職員アンケートを行い、地域資源を活用して余暇支援を計画、検討し実行に繋げる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナ禍により制限はあったが、訪問看護・福祉用具等の事業所とは継続して関りを持っていたため、今後も継続して本人を支えられる環境を整えることを目指す。	コロナ禍により制限は継続してあったが、施設内で出来る事を企画し、季節にあった行事企画を実施出来た。	感染対策を行い、出来る範囲でケアを行って欲しい。	少人数で感染対策を行った上での行事企画を目指す事とする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	いただいた意見を反映できるように利用者様や家族様で意見交換できる場を設けて、検討した上でよりよいケアにつなげる。	問い合わせや見学に対しては柔軟に対応出来ている。	運営推進会議は各施設からの報告が中心で、今後の活動等についての意見交換があまりない。	頂いた意見を反映出来る様に利用者様家族で意見交換出来る場を検討しケアに繋げる。

F. 事業所の 防災・災害対策	災害時に一時避難の受け入れ可能な規模等が具体的にわかる書面を用意し、職員・利用者様・地域の方に周知できる示せる準備をする。	コロナ禍により地域の取り組みには参加出来ずであったが、普段からお会いし、情報を収集出来ていた。	災害時地域の人を受け入れる際どのくらいのキャパがあり、どのように受け入れるのか地域との相談が必要。	災害時の避難受け入れやキャパを具体的にわかる書面を準備し職員間・利用者様・地域の方に示せる準備を行う。
--------------------	---	---	---	---

